



玉来ダムのおゆみ

玉来ダム建設事務所

1982年(S57)7月24日 竹田水害



浸水家屋数: 356戸

死者: 7名

1990年(H2)7月2日 竹田水害



S57出水に続き、竹田市街地で再び甚大な被害が発生！！



浸水家屋数：1,483戸

死者：5名

1991年(H3) 稲葉ダムと玉来ダム 事業採択



『竹田水害緊急治水ダム建設事業』

政府調査団の現地視察 (7月5日)



後藤竹田市長, 佐藤国土庁長官, 平松知事



綿貫建設大臣に災害状況を説明する平松知事



綿貫建設大臣に説明する平松知事 (8月1日)

2003年(H15)玉来ダム対策委員会設立

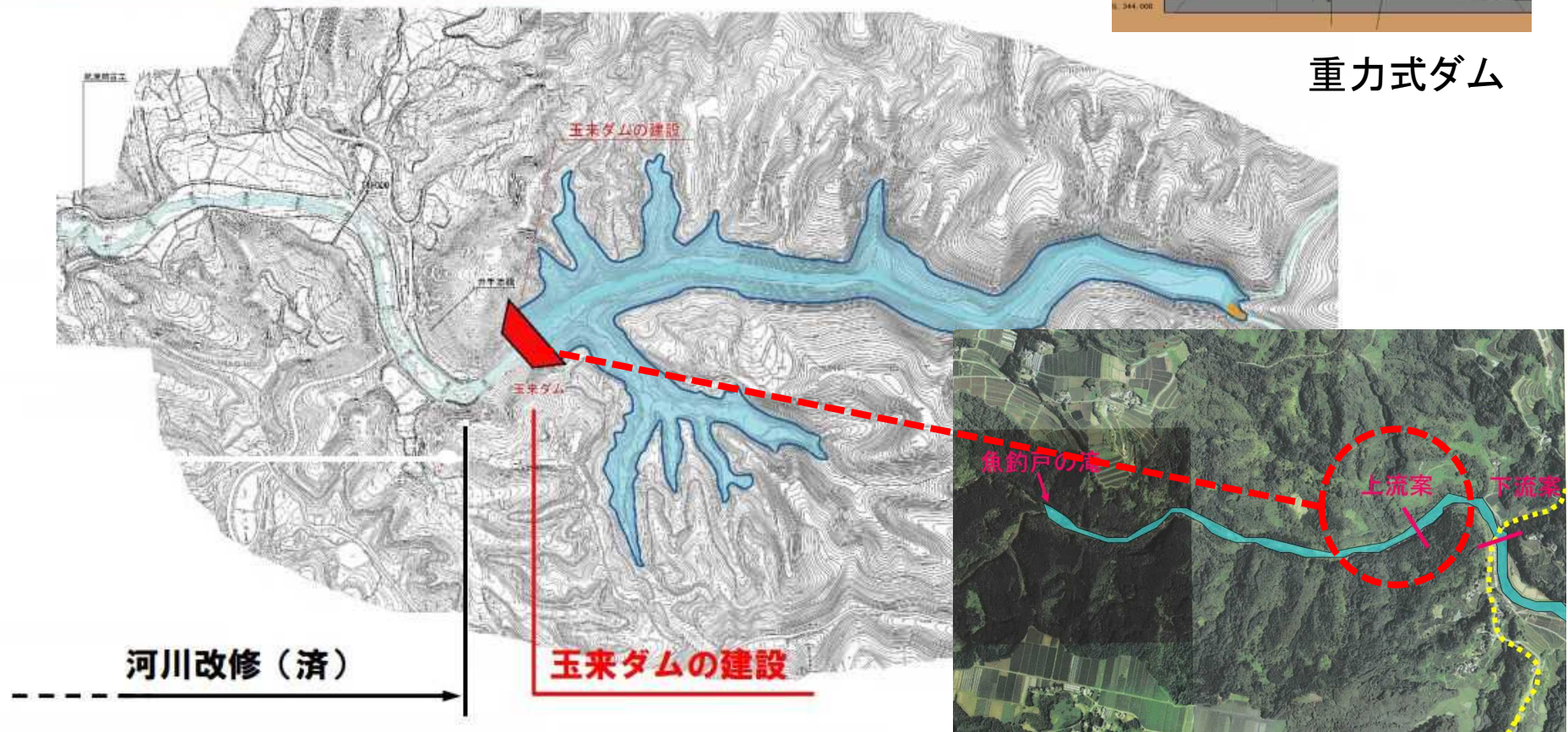


2009年(H21)基本設計会議(サイト及び型式)



- ・重力式ダム決定
- ・上流案採用

計画平面図(詳細)



2011年(H23)10月27日ダム検証:事業継続決定



○玉来ダム建設について事業評価監視委員会による知事への答申(H23.2.10)



➡ 「事業計画妥当」

○玉来ダムに関する国土交通省の対応方針(H23.10.27)

ダム名	検討主体	検討主体の報告		国土交通省の 対応方針	対応方針理由
		対応方針等	その理由等		
玉来ダム	大分県	継続	・コスト、実現性等から 現計画(玉来ダム案) が優位であるため	継続 (補助金交付を 継続)	今後の治水対策のあり方に関する有識者会議のご意見を踏まえ、検討内容は、基本的に、「中間とりまとめ」(※1)の共通的な考え方に沿って検討されていると認められる。目的別の総合評価の結果が、現計画案(玉来ダム案)が優位であり、検討主体の対応方針「継続」は妥当であると考えられる。

➡ 「継続」

2012年3月30日(H24)玉来ダム対策協議会設立



2012年(H24)7月 九州北部豪雨



ダム効果により被害が軽減された稲葉川



～治水ダムの有無で明暗～

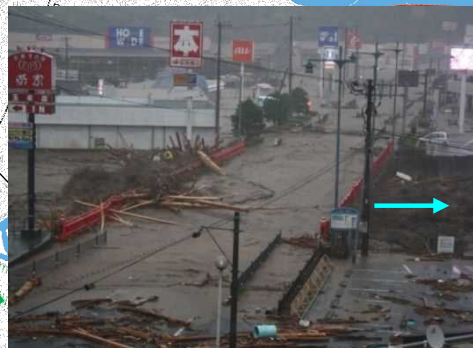
被害が軽減された稲葉川周辺



上流 稲葉ダム
H22完成

上流 玉来ダム
未完成

凡例
H22洪水: ---
H24洪水: ■



2012年(H24)7月12日 九州北部豪雨



玉来川流域で再度、甚大な被害が発生！！



浸水家屋数：217戸

死者：2名

2013年(H25)3月26日 基本協定調印



玉来ダム建設に関する基本



玉来ダム建設に関する基本協定調印式



2013年(H25)12月24日 損失補償基準調印



玉来ダム建設に関する損失補償基準調印式



玉来ダム建設に関する損失補償基準調印式



2014年(H26)2月25日基本設計会議(本体発注)



本体発注に向けた
準備完了

2014年(H26)転流トンネル・工事用道路着手



転流トンネル施工状況(平成26年度着手)



転流トンネル施工状況(平成28年度完成)

2015年(H27)7月9日 漁業補償調印



2017年(H29)4月 本体建設工事着手



2017年(H29)7月 玉来ダム起工式



2017年(H29)8月 玉来川転流開始



転流前



転流後の玉来川



転流後



2017年(H29)10月 本体基礎掘削着手



2018年(H30)10月ダム本体コンクリート打設開始

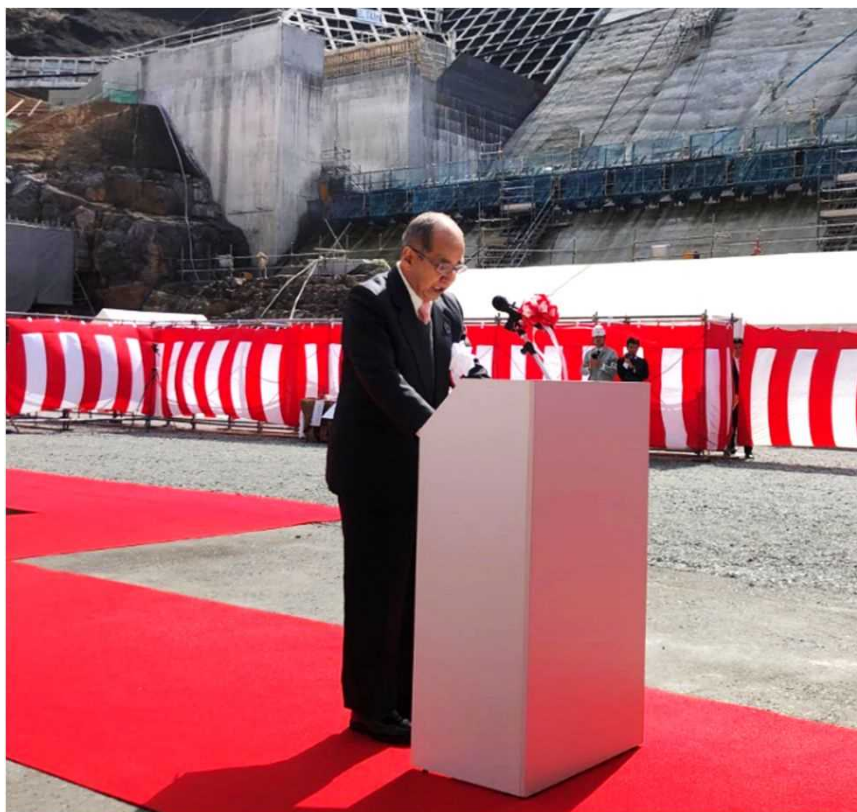


2019年(H31)3月16日 玉来ダム定礎式



ていそ 定礎宣言

広瀬勝貞知事による定礎宣言



ちんてい ぎ 鎮定の儀

これからの工事を進める道筋をつけるという意味があり、モルタルを礎石の基礎に入れる儀式です。

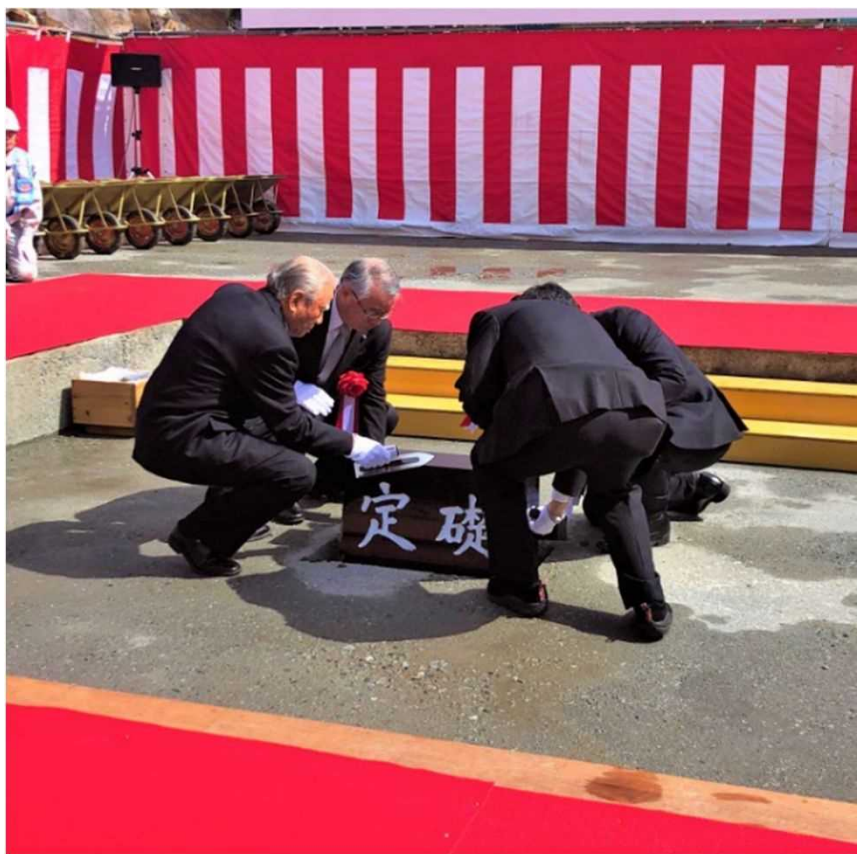


2019年(H31)3月16日 玉来ダム定礎式



いみごて ぎ 齋饗の儀

鎮定の儀でつけられた道筋をならす意味があり、
モルタルを饗でならす儀式です。



いみつち 齋槌の儀

齋饗の儀でならされた道をさらに強固なものにする意味
があり、槌を用いて礎石をしっかりと納める儀式です。



2019年(H31)3月16日 玉来ダム定礎式



まいのうぎ
埋納の儀

コンクリートを投入し、礎石と堤体が一体となるよう埋め込みます。



2019年(H31)3月工事進捗状況



一日も早い完成に向けて、工事を進めていきます

玉来ダム完成イメージ

